秋田地区 かわまちづくり

第7回 雄物川ワークショップ、開催！

5月19日（火）、第7回目のワークショップが、国土交通省秋田河川国道事務所において開催されました。

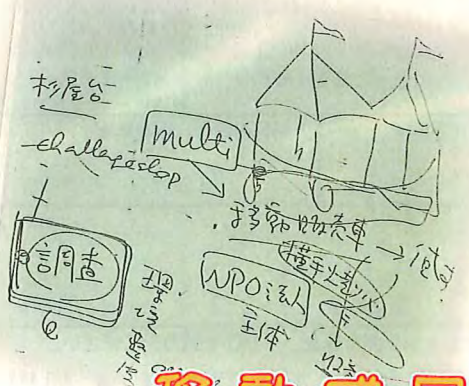


イメージは、屋根だけのサーカステント

第7回目の雄物川ワークショップは、参加13名で、社会実験実現に向けて具体的な検討が行われました。

雄物川ワークショップでは、今年2月に「ふらり・きれい雄物川」クリーンアッププロジェクトと題し、「みちのく国づくり支援事業」にクリーンアップ活動とタイアップカヌーイベント開催の助成申請を行いました。





この助成申請が採択され、今回のWSでは具体なオープンカフェのイメージと、オープンカフェを運営するための課題や検討事項、そして誰が何を担当すればいいのか、その役割分担について話し合われました。

移動式屋台で社会実験の実現へ

社会実験実現に向けた検討

今回のワークショップでは、２つのグループに分かれて、参加者がそれぞれどのようなオープンカフェをイメージしているか、話し合いました。

そのうえで、オープンカフェを実行するまでに必要な検討項目、問題点などを話し合いました。

カフェのイメージは……

・移動式屋台でカフェは運営。
・客席は仮設テント。屋根だけのサーカステント風で、てっぺんに目印の旗をつけたい。
・床に杉デッキか杉チップを敷きたい。
・コーヒー以外にも、ケーキなどを出せないか。



カフェの運営は……

・継続して活動するなら、事業主体が必要。NPO 化していくべきか。
・場所の貸し出しと料金の徴収方法を考えていかなければならない。
・場所を貸し出す場合は、スケジュール調整が必要。



移動式屋台は……

・場所的に商売は可能なのか。（要確認）
・市内のカフェに声をかける。あるいは限定公募で専門業者を巻き込みたい。
・お祭りの出店や移動販売の業者をリサーチする必要がある。



スケジュールと役割分担

今回のワークショップでは、具体なプランが肉付けされ、どんな設備が必要か、どんな業者に声をかけなければならないか、鮮明になってきました。

ワークショップ参加者で分担して、業者への声掛け、夏の花火大会での販売活動の可能性、移動販売で販売されているメニューの実態調査、許認可関係の確認をすることで合意しました。

あなたも秋田のかわまちづくりに参加してみませんか？

●申し込み方法等

方　法　：申込欄に必要事項を記入し、郵送・電話・FAX、もしくはインターネットホームページ、E-Mail にてお申し込みください。

●申し込み先

秋田地区かわまちづくり懇談会事務局
〒010-0951　秋田市山王一丁目 10-29
TEL：018－864－2288　　FAX：018－864－5204
e-Mail：　kawa-akita@thr.mlit.go.jp

●窓口（問い合わせ先）

国土交通省 秋田河川国道事務所　調査第一課
※住所や電話番号等は、申込先と同じです

●申し込み欄

※個人情報は、秋田地区かわまちづくりワークショップ以外には使用いたしません

(ふりがな) お名前	ご所属の団体、会社など
ご住所 電話番号（　　）　－	
参加を希望されるワークショップの番号を、１つ○で囲んでください。 1. 雄物川　2. 新屋左岸　3. 新屋右岸　4. 旭川 ・表町　・三角沼　・川反	

※インターネットホームページ、E－Ｍａｉｌからの申し込みも可能です。インターネットホームページからお申し込みの場合は、下記のアドレスまで
秋田地区かわまちづくりホームページ：http://www.thr.mlit.go.jp/akita/kasen/kawamachi/kawamachi.html

秋田地区 かわまちづくり

第1回 雄物川フェスティバル
水辺のオープンカフェ 大盛況で開催！



10月12日(月)体育の日。社会実験前の試行とするオープンカフェが『第1回雄物川フェスティバル』と題して、雄物川の秋田大橋上流にある河川緑地で開催されました。台風の影響で天候が心配されましたが、当日は天候に恵まれ、秋晴れの下、水辺で清々しく過ごせた1日でした。



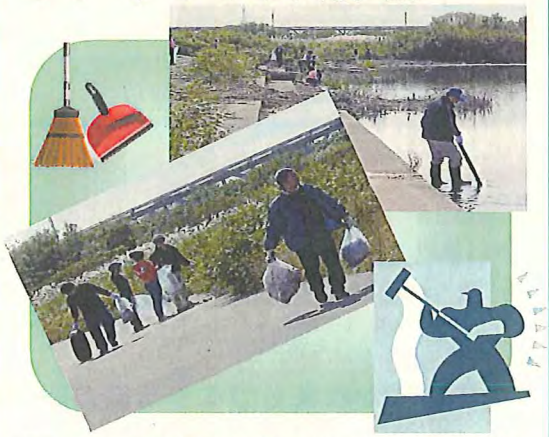
PR用のチラシ

当日、白と青の鮮やかなテントをランドマークとした会場には約300名の来場者で賑わい、オープンカフェに加え、雄物川クリーンアップ大作戦、カヌー体験などのイベントも行われました。来場者は家族連れが多く、チラシで知って来た方のほか、ペットの散歩の傍らに立ち寄られた方も見受けられました。


会場テント風景

今後この社会実験前の試行結果を検証し、来年度に向けてさらなるパワーアップを図ってゆく予定です。

クリーンアップ大作戦



9：30 から行われたクリーンアップ大作戦。参加者全員が会場前を流れる雄物川のゴミ拾いを行いました。これで、川も気分もスッキリと清やかになりました。

オープンカフェ

挽きたて、淹れたての香り深いコーヒーが販売されました。野外で飲むコーヒーは最高！！





雄物川社会実験準備会メンバーによるカラフルな移動販売車も登場！



採れたての珍しい山のさちの販売も。
産地直送、採れたて新鮮！！

話合いの段階から 活動展開の段階へ 社会実験前の試行が実現！！

「雄物川ワークショップ」改め、７月に呼称変更した「雄物川社会実験準備会」では、これまでに３回の会合を開き、具体なオープンカフェのイメージと、オープンカフェを運営するための課題や検討事項、そして誰が何を担当すればいいのか、その役割分担について話し合われました。そして、いよいよ本番！話合いの段階から活動の段階へと発展しました。

体験イベント・ステージイベント

雄物川でのカヌー体験。水面を滑らかに進むカヌーに乗って、水上のオアシス気分を堪能しました。「水の上って気持ちいいネ」との声も聴かれました。







流しソーメン体験は、１２時と１３時の２回に分けて行われました。１回目はお昼時とあって大盛況！「麺がなかなか取れな～い」と必死で流水麺をつかまえる子供たち。２回分で１２０人前がペロッとなくなり、大盛況でした。





会場の川向かいにある美短の学生によるワークショップ。学生の指導のもと来場者が自分で立体凧を製作し、凧上げをするというユニークな体験企画でこちらも大好評でした。



ステージイベントでは、地元ミュージシャン３組みによるミニ生ライブが行われ、会場の賑わいをさらに盛り上げました。また、カラオケ・絶叫大会では、自分の持ち歌を披露したり、日頃の様々な思いを雄物川へ思いっきり掃き出したりし、笑顔で帰る参加者の姿が印象的なイベントでした。

あなたも秋田のかわまちづくりに参加してみませんか？

●申し込み方法等

方　法　：申込欄に必要事項を記入し、郵送・電話・FAX、もしくはインターネットホームページ、E-Mailにてお申し込みください。

●申し込み先

秋田地区かわまちづくり懇談会事務局
〒010-0951　秋田市山王一丁目10-29
TEL：018－864－2288　　FAX：018－864－5204
e-Mail：　kawa-akita@thr.mlit.go.jp

●窓口（問い合わせ先）

国土交通省 秋田河川国道事務所　調査第一課
※住所や電話番号等は、申込先と同じです

●申し込み欄

※個人情報は、秋田地区かわまちづくりワークショップ以外には使用いたしません

(ふりがな) お名前	ご所属の団体、会社など
ご住所 電話番号（　　）　－	
参加を希望されるワークショップの番号を、1つ○で囲んでください。 1．雄物川　2．新屋左岸・表町　3．新屋右岸・三角沼　4．旭川・川反	

※インターネットホームページ、E－Mailからの申し込みも可能です。インターネットホームページからお申し込みの場合は、下記のアドレスまで
秋田地区かわまちづくりホームページ：http://www.thr.mlit.go.jp/akita/kasen/kawamachi/kawamachi.html

秋田地区かわまちづくり

第4回 雄物川社会実験準備会
水辺のオープンカフェのふりかえりを実施





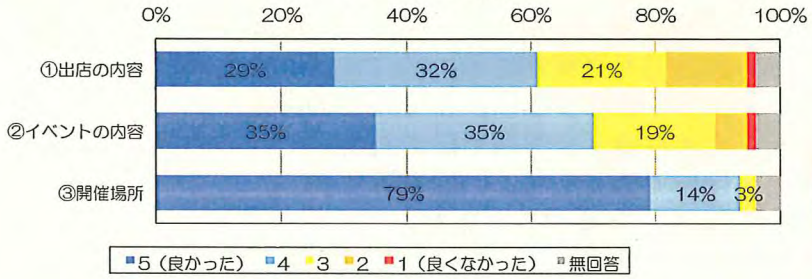
女性の来場者が多数でした

11月17日の火曜日、17名が参加し、10月12日に開催した「第一回雄物川フェスティバル～水辺のオープンカフェ～」のふりかえりを行いました。今回もポストイットを用いて、参加者がざっくばらんに意見を出し合いました。

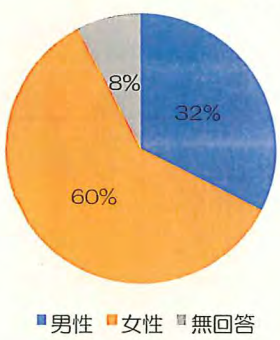
当日は、大盛況でしたが、振り返ってみると色々な反省点や改善点が出てきました。

当日、会場で聞取りしたアンケート結果を基に、社会実験の試行である今回の雄物川フェスティバルの結果を検証しました。

オープンカフェの満足度



来場者の性別と年齢構成の割合





オープンカフェの開催場所に対する満足度は79%と非常に高いものでした。来場者の検証では、女性の来場者がナント60%でした。来場者の年齢層で見ると、30歳代が30%、ついで40歳代・50歳代の14%という結果でした。次回の開催時には、もう少し20歳代や20歳未満の方の来場者が増える工夫をしてゆこうと準備会参加者一同で確認しました。

TVニュースで放映されました



TV取材の模様

今回の準備会では、雄物川フェスティバル当日の模様をTVで放映した映像が紹介されました。画面に入ると、すごく立派なイベントに見えるものですね～。いやいや、実際に立派なイベントでしたけど。放送局のスタッフからも、ニュースでもとても好評とのコメントを頂きました。



放送された佐藤ファシリテータ

「次はいつ？」「おもしろそう」

水辺のカフェのふりかえり、次へのアイデア、次への改善点と様々でユニークなアイデアが飛び交いました。結果として、「次回も是非やりたい」との意見が多く、早速次回の社会実験準備会から次のオープンカフェ開催へ向けて、準備の方向性や進め方が決まりました。

今後の進め方



位置づけ	社会実験として実施。
主催者	（仮称）秋田地区かわまちづくり協議会
開催予定時期	昼2回（6月・9月下旬～10月上旬） 夜1回（7月下旬～8月上旬）。
その他	・次回の社会実験準備会は２０１０年１月中旬を予定します。 ・三角沼と繋がりをもって社会実験を開催できる方向で検討します。

次へのアイデア



【全体的に】
- 飲食を充実させる。
- 自分たちで楽しむ。
- 規模を膨らませる。
- まきこみを強める。

【オープンカフェ】
- 夜の部もあればいい。
- 夕日のオープンカフェ。
- 夜やるなら花火大会にぶつけて…。
- 今回と同じ場所で開催したい。
- カヌーで輸送、第二会場も。
- 三角沼で（船着き場、釣りも可）。
- 水辺のジャズカフェ。
- 音楽の流れる高級感のあるカフェ。
- ドッグランカフェ　　etc.

【イベント】
- 水辺のマラソン大会。（2km～10km）
- 屋台村を充実させる。
- 秋にはキリタンポ、ダマッゴの販売。
- 大焼き鳥（立ち竈で鳥の丸焼）
- 自分でつくるちょいｱｳﾄﾄﾞｱﾒﾆｭｰ
- 雄物川Ｃ級グルメ大会。
- 親子で一緒にできる手作り体験コーナー（おりがみ等）。
- 三角沼ブラックバス駆除大会。
- ペットボトルロケット大会。
- 青空句会。
- 水辺のフォトコンテスト。
- 雄物川ゴミアート。
- 水辺のフリーマーケット。
- 軽トラによる野菜販売大集合。etc.



あなたも秋田のかわまちづくりに参加してみませんか？

●申し込み方法等

方　法　：申込欄に必要事項を記入し、郵送・電話・FAX、もしくはｲﾝﾀｰﾈｯﾄﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ、E-Mailにてお申し込みください。

●申し込み先

秋田地区かわまちづくり懇談会事務局
〒010-0951　秋田市山王一丁目10-29
TEL：018－864－2288　　FAX：018－864－5204
e-Mail：　kawa-akita@thr.mlit.go.jp

●窓口（問い合わせ先）

国土交通省 秋田河川国道事務所　調査第一課
※住所や電話番号等は、申込先と同じです

●申し込み欄

※個人情報は、秋田地区かわまちづくりワークショップ以外には使用いたしません

(ふりがな) お名前	ご所属の団体、会社など
ご住所 電話番号（　　）　－	
参加を希望されるワークショップの番号を、1つ○で囲んでください。 1．雄物川　2．新屋左岸　3．新屋右岸　4．旭川 ・表町　　・三角沼　　・川反	

※インターネットホームページ、E－Ｍａｉｌからの申し込みも可能です。インターネットホームページからお申し込みの場合は、下記のアドレスまで
秋田地区かわまちづくりホームページ：http://www.thr.mlit.go.jp/akita/kasen/kawamachi/kawamachi.html